

(別紙1)

## 第1次審査及び第2次審査における評価基準

評価項目	評価の着目点	評価点
業務目的等の理解度	業務の目的や方向性を的確に捉えているか これまでに同種業務を行ったことがあるか	5
業務の遂行体制及び事業計画の的確性	業務を円滑かつ誠実に遂行できる組織体制及び業務計画であるか	5
企画提案内容	<p><b>【実施計画の作成及び実施準備】</b></p> <p>①本業務では、本島全域にまたがる関係機関と良好な関係を築きながら、多岐にわたる調整をこなすこととなる。有意義なPIを実施する観点から、関係機関の積極的な協力を得るための工夫が提案できているか。 ②関係機関の日程（学年歴等）を踏まえた実施手法やスケジュール等が提案できているか。 ③国が主導する「沖縄交通リデザイン」との連携を意識した実施計画が提案できているか。 ④「市町村連携交通会議」との連携について提案できているか（意見交換の時期、テーマ等）。 ⇒ 創意工夫、的確性や具体性が高い場合に優位に評価する。</p>	5
	<p><b>【県民等参加型ワークショップ等の開催・運営】</b></p> <p>①WS参加予定者に主体性を持たせ、潜在意識及び積極的な意見を引き出すための工夫(※)が提案できているか。 ②学校周辺の交通事情や特色を踏まえたうえで、WS実施予定校を2校（中・南部圏域の県立高等学校をそれぞれ1校ずつ）提案できているか。 ③WS実施予定機関に係る周辺の交通事情、所在する圏域の特徴等を踏まえたうえで、WSのテーマ及び展開を実施予定機関ごとに提案できているか。 ④複数の実施予定機関でWS開催日程が重なった際の対応について提案できているか。 ※実施形態・手法、地域の実情に即したテーマや設問の設定、関係機関との連携等 ⇒ 創意工夫、的確性、具体性が高い場合に優位に評価する。</p>	15
	<p><b>【高校生、移動困難者等に対するアンケート・ヒアリング調査等の実施】</b></p> <p>①効果的・効率的なアンケート・ヒアリング調査のための工夫(※)が提案できているか。 ②地域の交通事情や特色を踏まえたうえで、ヒアリング実施予定機関（本島圏域別で1機関以上ずつ（自治会、協会等）。）が提案できているか。 ※実施形態・手法、地域の実情に即したテーマや設問の設定、関係機関との連携等 ⇒ 創意工夫、的確性、具体性が高い場合に優位に評価する。</p>	15
	<p><b>【PI結果分析、報告書等作成】</b></p> <p>①PIによる意見のとりまとめ・分析方法等について、提案できているか。 ②外部へ公表することを意識し、図・表・グラフ等を用いて整理し、県民等に分かりやすい資料とする工夫が提案できているか。 ③6年度以降のPIの取り組みについて、3年間の展開を提案できているか。 ⇒ 創意工夫、的確性、具体性が高い場合に優位に評価する。</p>	5
<b>【加点措置】※加点措置は、上記の委員による評価点合計が6割以上である提案者のみに行う。</b>		
取引先企業との適正な関係構築の取組	提案者(※)が次のいずれかに該当する場合、1点の加点措置を行う。（但し、①の合計点が同点の場合のみ考慮する。） ・「沖縄県所得向上応援企業認証制度」認証企業である場合 ・国の「パートナーシップ構築宣言」宣言企業である場合 （※提案者は、共同企業体の場合、代表者、構成員いずれでも可能とする。）	1

※上記について書面審査を行うので、各項目に係る説明を各提出様式等へ盛り込むこと。